

道の駅あつみ移転整備事業 屋外広場 設計ワークショップ 開催レポート

日時：2025年6月2日(月) 14時30分～17時

会場：鶴岡市温海庁舎

参加者：14名

鶴岡市・夕陽コミュニティ(設計担当・運営担当)・地域関係NPO団体・地域保育施設・協力者

広場設計の最終調整に向け、実際の模型を用いて広場活用の最適化を図るための検討を行いました。

利用者の安全性・回遊性・景観・導線などを総合的に考慮すべく、子どもに関わる活動を行う地域のNPO法人や鶴岡市こどもの遊び場に関する協議会の委員、地域の保育関係者を交え、多角的な視点で意見交換を行いました。



検討内容

- 広場のバランス・居心地・つながりを考慮した、プラスαのアイデア・工夫
- 多様な視点でみた、広場活用の可能性

● コンセプトの共有

まずは屋外広場を設計する上で設定したコンセプトを共有しました。温海地域の暮らしの中で大切にしてきた自然との共生や人とのつながりを、遊びながら感じることができる空間に！ここで遊んでくれる親子の姿を想像しながら…



道の駅あつみ 屋外プレイフィールド コンセプト

ともに支えあう、あつみの海と森

海と森 人と人 生き物と人間

●概要

テーマ：あつみの山海が生む自然循環～命をいただく感謝と自然に対する畏敬～家族で思いを巡らせる遊びの空間～
デザイン：あつみの海と森にすむなかまたち
・ストーリー性のある空間
・自然とのつながりを表現した遊び場
・だれをも包み込むインクルーシブな空間
・わくわくする世界への没入感を高めるアースカラーを基調とした空間
・居心地の良さ、親しみやすさや愛着が感じられる空間



●ゾーニング

「子どもまんなか」で多世代が多様に遊べるゾーニング
「動」と「静」の空間によるゾーニング

●主要なメッセージ

自然循環の重要性：海と森の保全を通じた持続可能な生活
地域文化の尊重：地元の文化や特産品をモチーフとした動植物やオブジェの有るユニークな遊具

●対象者に向けたメッセージ

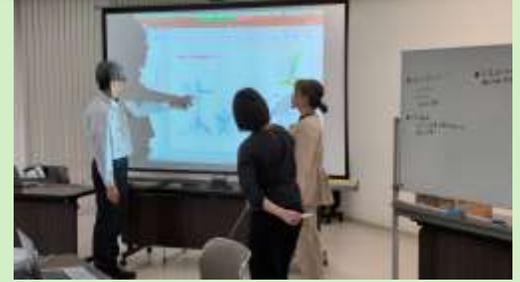
幼児…親しみながら、思いきり楽しんでほしい
小学校低学年…あつみの海や山を身近に感じてほしい
小学校高学年…あつみの海と森のつながりに関心を持ち、学ぶきっかけにしてほしい
親や祖父母…私たちと自然とのつながりや、未来へ受け継ぐ大切さについて、子どもと話すきっかけにしてほしい



屋外ひろば計画

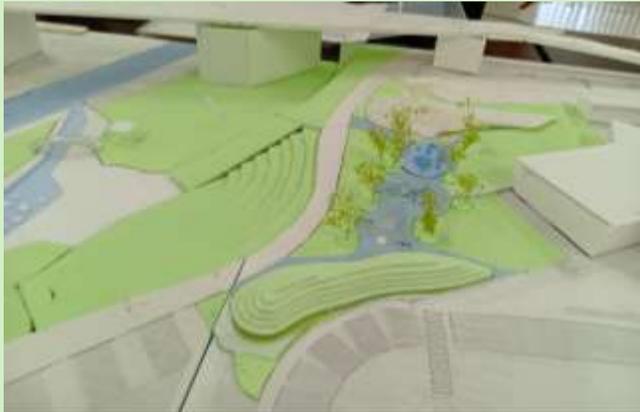
自然循環・食物連鎖をテーマとして遊びを展開するひろば

食物連鎖の樹木に囲まれた
こどもの海、森、せかい、をつくる
ちょっと遠くせかいに入り込んでしまふような
ワクワク感も感じられる場所に



● 配置計画の説明

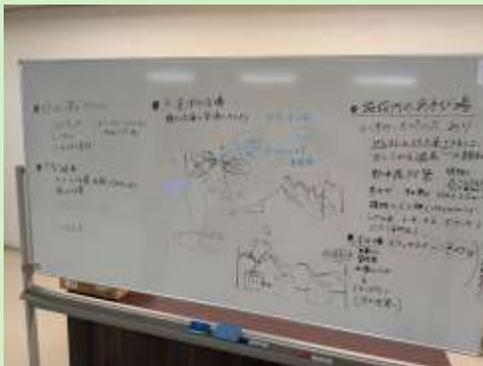
これまでいただいたご意見やアイデアをもとに、設計担当・運営担当・遊具メーカーさんなどと協議を重ねてできてきた、遊具や配置の検討案。これをもとに、さらに様々な視点でブラッシュアップ！



● 模型を用いたブレインストーミング

広場の1/200模型を使用。空間イメージがしやすく、平面図だけではわからなかった部分が見えてきます。ここに14人の目が加わることで、より多くの気づきとアイデアが出てきます。

安心して遊べる場所にするには？ 駅舎からの導線はどう？ 国道や駐車場からの見え方は？ 熱中症対策もできるといい！ こんな樹木にしてはどう？ これをプラスしたらもっと楽しくなりそう！・・・発展的な意見が交わされました。終始ワイワイ和やかな雰囲気で行われたワークショップでしたが、皆さんの真剣な眼差しには、未来を担う子どもたちへの思いが溢れていました。



構想から実現へ・・・！
広場設計はよいよ大詰め。今回のワークショップでの収穫を広場設計そして運営にも活かしてまいります！

